

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立田川小学校 学校協議会

1 総括についての評価

「運営に関する計画」に示されている評価は数値が多いが、学校協議会を通して、その意図や数値では表せない現状を知ることができ、とても有意義な協議会であった。

時代が大きく変化し、学校教育においても色々な課題を見聞きする中で、本校の児童は比較的落ち着いて学校生活を送っていることは喜ばしい。

今年度の評価は、説明を受け、妥当な評価であると判断した。

「学校が元気になれば、地域も元気になる」ということを常に協議会で認識することができた。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】 評価 A

不登校児童の減少や改善の割合が向上したこと、いじめに向けての未然防止や早期解決が組織的に行われたことにより、児童が安全、安心な教育環境を推進することができた。また「心の天気」「相談機能」について改めて説明し、その活用の効果について高い評価となった。

学年を超えた縦割り班活動を充実させ、高学年児童に選択と責任を与えることにより、自己肯定感が高まったことが高く評価された。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】 評価 B

学力の向上においては一定の成果が見られるものの、体力においては課題が見られ、地域の現状と照らし合わせて課題を分析することができた。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】 評価 B

デジタル化が進む中、すべてがデジタルではなく、読書の大切さや、書くことの必要性などの現状について質問をいただいた。「とりあえず使ってみる」から「効果的な活用の仕方」について学校としても取り組んでいること、端末の持ち帰りを進める中で、学びの充実が図れる点などを説明しご理解いただいた。

3 今後の学校園の運営についての意見

- 引き続き、地域と連携し、安全安心な教育環境の充実を図るとともに、講堂にエアコンが設置され、夏でも運動量を確保しながら、体力向上に向けての取組を強化する必要がある。
- デジタル化が進む中でも、体験学習などの充実を今まで通り行い、実体験に基づく学びを大切にしていく必要がある。
- 「ゆとりの日」と金曜日の週 2 回は、留守番電話を 17:00 に設定することにより、保護者に、連絡帳を活用したり、勤務時間内に電話をいただいたりするなどの協力を求めることは今後も続けていく必要がある。